

第3回動植物園施設整備計画策定に関する意見聴取委員会 議事録（要旨）

1. 日時

令和元年（2019年）10月28日（月） 13:30～15:00

2. 場所

熊本市動植物園 動物資料館レクチャールーム

3. 出席委員

石黒委員（副委員長）、庄田委員、田村委員（代理：河原氏）、吉本委員、来住委員、原委員

4. 配布資料

動植物園マスタープラン（概要版）（案）
植物ゾーンのリニューアルについて

5. 次第

- (1) 開会
- (2) 委嘱状の交付
- (3) 観光交流部長挨拶
- (4) 委員長及び副委員長の選出
- (5) 議事
 - ・動植物園マスタープランの概要版（案）について
- (6) 総括
- (7) 閉会

6. 議事録

- (4) 委員長及び副委員長の選出
委員長に伊藤秀一委員、副委員長に石黒義也委員が選出

- (5) 議事
 - ・動植物園マスタープランの概要版（案）について

副委員長	【事務局からの資料（概要版P. 1～3・植物ゾーンのリニューアルについて）の説明】 それでは、植物ゾーンのリニューアルと動植物園マスター
------	---

委員	<p>プランの第1章、第2章について、事務局から説明がありましたが、それに対して、ご意見とご質問がございましたら、ご発言ください。</p> <p>マスタープランの2ページ目に目指す来園者数が掲げられているのですが、今後人口がどんどん減っていく中で、それを加味しながら設定されているものなのか。</p>
事務局	<p>人口の減少ということは、確かにあるかと思いますが、そこは、加味しておりません。むしろ1つの目標として、85万人を設定しました。人口が減ったことで、リピート率をあげる。年間を通し、くりかえし来園頂けるようなことを目標にしながら、施設の魅力を高めていかなければならないと思っております。</p> <p>【事務局からの資料（概要版P. 4～5）の説明】</p>
副委員長	<p>計画の実現に向けた取り組みについて、いくつかご提示されましたが、それについてご質問等はございませんか。</p>
委員	<p>前回までの議論では、成果指標としては、自主財源比率を現状の31%から45%へ引き上げようということで、議論されていたかと思うのですが、今回の見直した計画では、成果指標としては、来園者数を一番の指標とするという考え方でよろしいかどうかをお聞かせいただきたいということと、そうするのであれば、今後の10年間における、歳入と歳出の計画というのも、同様に策定されていかれて、入園者数が増えた結果、自主財源も改善していくという理解でいいのか。どのようにお考えですか。</p>
事務局	<p>委員ご指摘のとおり、以前は自主財源比率45%までもっていくというのも入れておりました。ただ、園内で協議をしていく中で、後ほどのご質問にもなりますけれども、新たな整備に係る費用などをきちっとした形で積み上げている訳ではございません。なので、不確定な歳出の中で、自主財源比率45%という目標は、どうなのかという議論になりました。</p>

	<p>て、今回は、来園者数85万人だけを成果指標に取り入れております。後ほどご説明をさせていただきますが、6ページになりますが、運営体制の強化をテーマの1つに掲げておりまして、更なる歳出削減の下に、図でお示しをしておりますが、基本的には入園者増による歳入の確保ですとか、管理コストの削減や施設の長寿命化対策によるライフサイクルコストの削減などで、歳出の削減と歳入の確保を図ったうえで、将来的には、管理経費の約半分を自主財源で賄っていきたいという目標は引き続き持って取り組んでいきたいと思っております。また、委員ご指摘のとおり、こういった計画を策定した後は、きちんと財源の積み上げというものは必要かと思っております。</p>
副委員長	<p>ほかにはございませんか。</p>
委員	<p>テーマ2のところに戻りますが、水辺のインフォメーションセンターの設置というところで、リピーターを増やすというところでも、中高生とか子供たちに、教育的な。観光スポットセンターのようなものでもいいのですが。図書館みたいなものも併設するとか、教育の分野も入ったインフォメーションセンターになるといいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>ご提案ありがとうございます。水辺のインフォメーションセンターというところは、今のところ、江津湖に関する情報発信の場としての位置づけで、まだ具体的にどのような中身にしていくのかというのはこれからになるかと思いますが、ご指摘のとおり、江津湖の自然に関する本があるというのも、設置目的に沿っているのではないかと思います。</p>
副委員長	<p>それでは、次の計画実現へ向けた取り組みのご説明をお願いします。</p> <p>【事務局からの資料（概要版P. 6）の説明】</p>
副委員長	<p>テーマ3、テーマ4についてご意見・ご質問はございませんか。</p>

委員	<p>動物サポーター制度の見直しの件ですが、施設整備に活用するための基金になさるとのことですが、今までのような、動物のエサ代のためにという制度はなくなるということですか。</p>
事務局	<p>現在、正確に言いますと、サポーター制度自体が基金ではないものですから、新たに基金を立ち上げるというのが、この4番目で一番言いたいことでした。この基金に関しては、マスタープランに必要な経費を少しでも賄うための基金ということにしていきたいと思っています。今のところサポーター制度というのは、見直すということにしておりますが、以前から熱心に寄附をして頂いているお客様もおられるものですから、今のまま続けるのか、新たな形で続けていくのかと言うのは今後の検討とさせていただきたいと思えます。</p>
委員	<p>施設整備の推進、魅力あふれる動植物園づくりというところで、今までの計画、議論を振り返っていたのですが、中央ステージというのが、この建物の真向かいにあるのですが、中央ステージというのも老朽化があると思うのですが、そのあたりは、この計画の中で、どのような位置づけになるのかというところを、教えて頂けたらと思います。</p>
事務局	<p>中央ステージについては、長寿命化計画の中で、ステージの維持補修が入っておりますので、その計画の中で、改修をしていきたいと思っております。ただ、現状が大きく変わるというよりも、長く使っていくために、改修を行っていく形で考えています。</p>
副委員長	<p>それでは、最後の全体スケジュールの説明をお願いします。</p> <p>【事務局からの資料（概要版P. 7～9）の説明】</p>
委員長	<p>最後の説明に関して、ご意見、ご質問はありませんか。</p>

委員	<p>私の先ほどの質問と重複するところがありますが、動植物園公共施設として考えますと、成果指標として入園者数を使うということは、非常に良いことではないかと思うのですが、最後にご説明頂きました、今後10年間の中長期計画ですが、民間的な発想で言いますと、10年間の中長期計画というものは、計数的な裏付けが不可欠になってくるということになります。今のお話ですと、市全体として、見直しを進めていると言うことで、中々具体的な計数的な中長期計画までは提示できなかったというお話かと思うのですが、計画自体がないと、具体的な議論のたたき台にならないと思いますので、計数的な計画につきましては、できるだけ早い時期に作成をお願いできればと思います。</p> <p>併せて、前回までの2回の会議で、歳入に関しては、入園料であるとか駐車場使用料の料金をどうするかという議論があったと思うのですが、それにつきましては、いかがでしょうか。議論の方は進んでいるのであれば、説明をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>先ほどの、計数的な計画につきましては、今後早急に検討して参りたいと思っております。</p> <p>入園料等の歳入に関してですけれども、ニュースでご存知かもしれませんが、熊本市全体で受益者負担の見直しを行いまして、9月の議会で、動植物園も含めた、全体的な使用料、手数料の値上げをさせて頂くこととしております。熊本市の動植物園は、今現在、大人の料金300円頂いているところを、500円頂くことにいたしました。来年の4月1日からの施行になります。こども料金は、社会教育施設であるという側面を考慮して、据え置かせていただいているところでございます。駐車場使用料の見直しにつきましても、このプランの中で、適正な受益者負担を掲げていることから、実際改定が必要なのかどうかということは今後議論していかなければならないのかなと思っております。</p>
副委員長	<p>他にございませんか。全体的にご意見やご質問はございませんでしょうか。</p>

委員	<p>最後のページに絵が描かれていますけれども、アフリカの雄大な大地ということで、絵姿がイメージが描かれています。でいわゆる、完全なサバンナのような景観というのは不可能だと思うんですけど、視点場の取り方によっては、人が見る位置ですね。動物がいて、サバンナ風のを造成した時に、その向こうに江津湖が見える。構築物がほとんど見えない工夫をすれば、すごく魅力のある動植物園が作り上げられていくのではないかなという感じがしています。私は、普段から国立公園の管理をやっています、視点場の確保というのをいつも気にかけてやっています。最初から見せるのではなくて、演出、いわゆる木を適度に配置しながら見せるとか、柵については、一段落として見せるとか。どうしても、構築物が出る場合には、金網を張ってつたをはわせるとか、一見構築物が見えないような雰囲気づくりを気にかけています。そういったものを、動植物園であまりお金をかけない形で工夫してやれるのではないかな。ちょっと立つ位置を上げれば、そのような視点もいくつもできるのではないかなというような可能性のある動植物園ではないかなと思っております。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。動物の見せ方に関しては、いろんな見せ方が、いろんな園で取り組んでおられますけれども、このサバンナというのは、実際のアフリカの草原ではいろんな動物が、同じ場所に生活をしていて、すみ分けています。そういった中の、暮らしを見せるというのが、来園者にとって、実際の自然を感じるという面では、すごく重要な部分だと思います。今、ご意見頂いたように、見せ方ひとつで、全然感じ方が変わってくると思いますので、教育といった部分でも、環境のことを思い描くような見せ方をしながら教育につなげていくことが大事だと思います。それとその先に江津湖が見えるという非常に魅力的なビューポイントを持っていますので、是非そういったご意見を参考にさせて頂いて、サバンナの風景を作って行ければと思います。</p>
副委員長	<p>他にご意見はございませんか。</p>

委員	<p>水辺のインフォメーションセンターの件ですが、私も水前寺江津湖公園利活用保全推進協議会に、傍聴人として意見を聞かせて頂いておりますが、一般的にビジターセンターに相当するようなものが必要ということで、かなり意見が出ていることを承知しているのですけれども、水辺のインフォメーションセンターと動物資料館の改修されたあとの、いきもの学習センターがあるわけですが、この2つがどういった違いであったりだとか、どういった立ち位置にこれから位置付けていくのか。例えば、一般的な感じだと2つ同じものができるような印象にもなりかねないので、どういった見せ方をするのか、どういったものを発信して行くのかということ、今後素案の中や具体的な計画を行う中で、検討する必要があるのではないかと感じております。</p>
事務局	<p>委員ご指摘のとおりだと思います。皆様ご承知のとおり、今現在、動物資料館におきましても、江津湖に関する情報の発信をさせて頂いておりますし、江津湖をテーマとした環境学習というものも、非常に力を入れているところでございます。そのような中で、インフォメーションセンターとのすみ分けということは、具体的には今後検討しなければならないと思っております。現時点で具体的にお答えすることは難しいのですが、資料館の役割ですとか、教育カリキュラムの拡充を検討しなければならないと思っております。</p> <p>マスタープランでも、いきもの学習センターをご提示しておりますので、次回素案をお示しするときに、それぞれの役割を分かりやすいようにご説明する必要があるかと思っております。</p>
副委員長	<p>同じような意見ですが、植物ゾーンの緑の相談所を、植物資料館としての機能を果たしていないので、江津湖周辺にすごい日本でも希少な植物がたくさん生息している訳ですから、それをどういうふうに見せるか。標本でもいろんなことでもですね。こちらが動物資料館であれば、向こうも植物の資料館としての機能が果たせるような施設になったらいいなと思っております。そのあたりを今後検討して頂け</p>

事務局	<p>ればと思います。</p> <p>こちらの動物資料館につきましても、いきもの学習センターということで、動物に特化したものではない施設になっていくと考えております。そのうえで、あちらの江津湖に関しては、江津湖の自然環境ですとか、句碑やイベントなどの情報発信をする場ということで、大きなすみ分けはさせて頂いております、当然江津湖の自然環境を発信するということは、おっしゃられたような希少な植物、動物、昆虫そういったものも、その場で情報を集約して発信していくことになるかと思っております。</p>
副委員長	<p>熊本市の方では、生物多様性戦略Cプランという立派なものを作られておられるので、それと連携した形で、博物館相当施設しての役割を果たすように是非お願いできたらと思っております。</p>
委員	<p>先日、コスモスを見に植物園側に行きました。植物園側もすごく魅力的だなと思ったのですが、車いすでも入って行けるような施設だったり、通路があったりというのが、みんなが行ける場所になるのかなと思いました。動物園側ですが、よければというか、これから園路を整備すると思うのですが、自転車レーンのような、ベビーカー・車いすレーンのような園路に表示とかがあると行きやすいのかなと思っていました。どうしても、前に行きたいけれども、なかなか声が出せないとか、目線が低くて見られずに諦めるところもあるので、整備されるところをみんなが楽しめるような場所に変わるといいなと思います。</p>
事務局	<p>皆さんが楽しんでいただける、ゆっくり過ごして頂ける、移動しやすいというのは、整備の中で大切な視点だと思っておりますので、先ほど1つの案としてレーンということがございましたが、どこまでそういう取り組みができるかというのは、現時点でお答えできませんけれども、そういった視点を持って整備に取り組んでいければと思います。</p>

副委員長	<p>他にございませんか。それでは、本日欠席の委員長の方から、事前にご意見を頂いておりますので、それに関して事務局より説明して頂いて、回答もございましたら、お願いしたいと思います。よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>委員長からのご意見と、それに対する我々の考え方をご紹介させていただきます。</p> <p>自然環境教育の推進は短期的にも達成して頂きたい。というご意見でございます。具体的には、3ページのテーマ1の3になりますが、これは継続的に検討していく事項と考えておまして、長期、短期というものではないと認識しております。従って、あえて短期の取り組みとはしておらず、毎年、継続的に取り組まなければならないと思っております。</p> <p>テーマ1について達成目標や進捗状況のチェックが必要ではないかのご意見を頂いております。こちらにつきましては、計画の素案には、進捗の管理と見直しの項目を設けたいと考えておりますので、第4回の意見聴取委員会の素案の中で、お示しできればと思っております。</p> <p>動植物園全体の統一感やデザインに関する記述がないということですが、こちらについては、次回素案の中で示させていただきたいと思っております。以上です。</p>
副委員長	<p>ありがとうございました。それでは委員の皆様からご意見ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>せっかく植物園と動物園を一緒にやっているのだから、もう少し一体化してほしいという感じがあります。今別れてやっているのだから、植物ゾーンにタヌキとか動物がいてもいいわけですね。動物ゾーンはコンクリートが目立つので、一体的にやるとかなり動物臭も消えるのではないかと思います。お願いだけです。</p>
副委員長	<p>今のご意見は、植物ゾーンにも小さな動物舎を置いてもらったり、動物ゾーンにももっと、花畑を入れたらどうかというご意見ですね。</p>

委員	<p>お客さんが別れているような感じがするんですね。ご年配の方が植物ゾーンにいらして、動物ゾーンに子どもたちがいるという感じで別れているので、せっかくだから、どちらにも行けるような感じがいいのではないかなと思います。</p>
事務局	<p>旧計画から踏襲している考え方は、動物と植物の一体展示というものを考えておりました、おっしゃられたように、植物園にも動物がいたり、動物ゾーンにも植物がいたりという考え方は我々も一緒でございます。来園者の利用形態も鑑みながら、先ほど食事の話が出ましたけれども、やはり、動物園にきて動物を見た後に、お昼は植物園でとられたりします。においの問題もありますので。来園者の利用状況を鑑みながら、必要な一体的な展示を進めていければと思っているところでございます。</p>
副委員長	<p>ありがとうございました。</p>

(6) 総括

副委員長

熊本市動植物園は経済観光局の管轄ではありますが、経済観光局だけではなく、公園課や環境共生課、教育委員会の博物館との連携を密にした運営をしていくことが、動植物園が博物館相当施設としての意義があり、素晴らしい動植物園になっていくのではないかというふうに考えます。

皆様のご意見をまとめた形にならなかったかもしれませんが、総括としたいと思います。今日は、本当に皆さんありがとうございました。